エヴァの匂い（1962）

EVA

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 117分
初公開日 1963/06/01
公開情報 ヘラルド

【解説】

英国の推理作家Ｊ・Ｈ・チェイスの原作のこの上もない悪女をモローが不敵に演じ切り、ロージーの演出も冴えた、官能のロマンである。元坑夫という経歴の新進作家ティヴィアン（ベイカー）は、婚約者フランチェスカ（リージ）のいる身でありながら、ベネチア社交界の花形であるエヴァの虜になり、彼女のために幾人もの男が身を滅ぼしたと知りながら、激しくのめり込んでいく。彼が労働者出身であるのをエヴァが嘲るところなど、ロージー一流の逆説的なブルジョワ批判となっていて、言葉なぶり自体にぞくぞくしながらも唸らされる。やがて、フランチェスカを死に追いやり、友人たちにも見捨てられたティヴィアン。結局は、他の男同様に彼も、魔性の女エヴァに捨て去られる運命なのだ……。ラスト、一人モーター・ボートを駆って運河を去っていくモローが颯爽と美しかった。彼女の衣裳は当時恋人だったＰ・カルダンのデザインで、Ｍ・ルグランがジャズィな音楽を担当。ビリー・ホリデイの唄う“柳よ泣いておくれ”が印象的な使われ方をしていた。

【クレジット】

監督	ジョセフ・ロージー	Joseph Losey
製作	ロベール・アキム	Robert Hakim
	レイモン・アキム	Raymond Hakim
原作	ジェームズ・ハドリー・チェイス	James Hadley Chase
脚本	ヒューゴ・バトラー	Hugo Butler
	エヴァン・ジョーンズ	Evan Jones
撮影	ジャンニ・ディ・ヴェナンツォ	Gianni Di Venanzo
音楽監督	カルロ・サヴィーナ	Carlo Savina
音楽	ミシェル・ルグラン	Michel Legrand
出演	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau
	スタンリー・ベイカー	Stanley Baker
	ヴィルナ・リージ	Virna Lisi
	リザ・ガストーニ	Lisa Gastoni

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.